



お元気ですか

株式会社ダイニ商会 TEL 045-521-4786

台風やゲリラ豪雨による河川の増水や氾濫に注意！

海と山に囲まれ、水資源が多く、四季の移ろいに彩られた日本列島は、豊かな自然に恵まれています。しかし、台風の通り道でもあります。夏になると、日本の南東の海上では熱帯低気圧が発生しやすくなります。それが台風へと発達し、日本列島に接近、時には上陸して暴風雨をもたらします。更には前線の活動を活発にして、ゲリラ豪雨や線状降水帯などを発生させます。

国土の7割が山地であるため、河川は急勾配で流れが速く、堤防の決壊や鉄砲水など、多くの水害が毎年、日本の各地で発生しています。

先月の8月上旬、山形県を流れる最上川が、北陸方面を襲った集中豪雨のために氾濫し、周辺地域に大きな爪痕を残しました。

最上川といえば、松尾芭蕉の代表的な俳句があります。

五月雨を集めて早し最上川（松尾芭蕉）

実は芭蕉は最初、この地域に到着した際、川風の涼しさに「五月雨を集めて涼し最上川」と詠みました。しかし、実際に梅雨の雨を集めた最上川の川下りを体験した芭蕉は、涼しを早しに変えました。日本三急流の一つである最上川です。梅雨によって更に増水した川下りは、想像を超える恐ろしさだったのでしょうか。

近年の異常気象により、これまで経験したことのない雨の災害が全国で発生しています。

私たちの住む地域にも、多摩川や鶴見川、相模川など、大小様々な河川が流れています。普段は穏やかに流れているこれらの川も、上流でゲリラ豪雨や線状降水帯が発生した場合、河川や橋に近づくことは危険です。自治体が作成しているハザードマップや防災マップを参考に、避難経路や避難場所など、対策をしておきましょう。

台風による災害は水害だけじゃない

これからの季節は、台風による影響で様々な異常気象が予想されます。上記では河川の水害への注意喚起をしましたが、もちろん、災害はそれだけではありません。

竜巻や冠水、土砂崩れなどの自然災害にとどまらず、停電や交通機関の乱れなどの都市部の機能不全も考えられます。

そういった大きな災害だけではなく、突風によるドアの指挟みや転倒、強風による飛ばされた用具による打撲など、個々人への災害も発生します。

業務中に災害に遭遇した際は、まず自分の安全確保を第一に考え、行動してください。安全を確保したら、必ず会社にご連絡ください。



9月1日は防災の日

日本は、世界でも地震の多い国として有名です。国土の広さは全世界の1%にも満たないのに、世界で起きる地震の2割は日本で起きています。今から99年前の1923年9月1日は、観測史上最大規模の死者14万人以上を出した**関東大震災**が起きた日です。この日を教訓として**9月1日を防災の日**としています。



関東大震災というと、東京で起きた大地震の事のように思えますが、震源地は神奈川県の相模湾でした。相模湾を震源地として、東京、千葉、埼玉、静岡、山梨に及び、広大な地域で震度6以上の揺れが生じ、家屋倒壊、津波、火災、大規模な山津波などが発生しました。この大震災では11時58分より12時03分までの間に、M7.9、M7.2、M7.3という大きな揺れが3度も続き、特異な地震災害となりました。

大震災とされる地震災害は、近年でも何度か発生しています。それらで発生した人的被災状況は、時間帯や地域、その時の自然環境によって、大きく変わります。

関東大震災

地震発生時、石川県の能登半島に台風が停滞していました。その影響で関東地方には強風が吹き荒れていました。倒壊した家屋から出火した火災が強風に煽られ、数時間後には大規模な延焼火災に拡大しました。現在の墨田区にあった2万坪の空き地が避難所となっていました。そこに避難していた約4万人の人が火災旋風により亡くなりました。それを含め、この震災ではおよそ10万人が火災により死亡したと言われています。震災全体の死亡者数の、87.1%だと言われています。

阪神淡路大震災

明石海峡を震源地として、人口密度の高い都市部で発生しました。多くの人々が就寝している早朝に発生したため、逃げ遅れた被災者が多く、倒壊した家屋での圧死が全体の83.8%にも及びました。その時の揺れはすさまじく、地震に遭遇した私の知人の話によると台所の冷蔵庫が隣室の居間まで飛び、室内は素足では歩けず風呂場のプラスチック製の履物を履き片づけを行ったそうです。

東日本大震災

東北の宮城県牡鹿半島沖で起こった海底の地殻変動により発生しました。それにより、巨大な津波が発生し、東北地方だけでなく、関東地方の太平洋沿岸部に及び広い範囲で壊滅的な被害が生じました。被害者全体のうち、実に92.4%が溺死、及び津波関連の災害で亡くなりました。被災地で被害を被ったマンションの管理士さん達との話し合いの時、皆さん口をそろえて、「平時の対策の重要性」を述べていました。

天災は忘れた頃にやってくる

会報でも何度も紹介している言葉です。未曾有の災害は、いつ何時襲ってくるかわかりません。自分の身に降りかかった時、少しでも被害を抑えるには、過去の災害に学び、日頃から備えることが肝要です。

階段での事故防止

作業現場だけでなく、自宅においても、階段での踏み外しや転落の事故はとても多いです。怪我の程度の大小はありますが、毎年必ず何件か発生しています。

階段での清掃作業

- ✓ 基本的には上段と下段に足を段違いにして立つ
 - ✓ 身体を半身に構え、正面を向かないようにする
- 身体のバランスを安定させます。もし、バランスを崩しても、とっさにどちらかの足で踏み止まれるようにします。



巡回清掃時の階段移動

- ✓ 用具はまとめて持ち、必ず片手を空けておく
 - ✓ 手すりのある階段では、なるべく手すりを掴みながら昇降する
- 踏み外しなどで身体のバランスを崩したときは、用具よりも自分の身を守る行動が取れるようにしてください。

共用通路で事故防止

作業中、共用通路などに無造作に置くと、自分だけでなく、居住者様の事故にも繋がります。

- ✓ ホウキやモップを壁に立て掛けない
- ✓ エレベーターや階段の前に用具を置かない
- ✓ 手すりの上に用具を置かない

常に人の通りがあることを考え、通行する人を思いやった用具の置き方を心がけましょう。

安全衛生委員会便り

10月1日から7日が全国労働衛生週間です。

9月はその準備月間です。

今年のスローガンは「あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場」です。

皆様におかれましては、それぞれの現場や控室、倉庫の状況を改めて確認してください。

安全衛生パトロールも強化し、職場改善に取り組みます。巡回員や担当社員への意見や要望をお待ちしております。

8月度の安全衛生委員会は新型コロナ感染の急拡大により中止としました。

今月の安全標語 **安全の はず と つもりが 事故のもと**

注意していれば事故は起きないはず 安全に作業しているつもり

このような、はずとつもりという不確かさが、事故につながります。

はずとつमोरの先には、**自分に限って**というおごりの心も呼び寄せます。

事故に対して、怖れと謙虚の気持ちを忘れず、日々の作業にあたってください。

安全の基は心です マナーの基も心です 仕事の土台は無事故です

感謝とお詫び

今年は去年よりさらに猛暑となりました。

立ち眩みを起こしそうな照り返しなかの表掃き。異臭が漂う狭いゴミ置き場の整理やゴミの搬出。階段の登り降りの息苦しさ。現場の皆様、快く代務を引き受けていただいた皆様
暑いなかお疲れ様でした感謝しております。

例年、皆様の疲労を少しでも軽減するため、営業一課とP S係で万全の準備をしておりますが、人手不足による欠員物件に加え、新型コロナウイルス感染者（濃厚接触者）の増加、ワクチン接種の副反応による欠勤者増加のため皆様の健康管理という点では会社として疎かになっていた感は否めません。現場の皆さんと十分な休みがとれなかった1課とP S係の皆さんにお詫びをいたします。

今後、対応策を講じていきたいと存じます。

時間管理についてお願い

「暑いなか休憩時間を取らないで。」とは言いません。

実働時間外に休憩の取得をお願いします。実働時間中に休憩を取得することは、**契約時間違反**になります。当社の日常清掃業務は時間を単元とした契約です。

契約違反が判明した場合、お支払いした給与のうち違反時間分の給与と損害金を取引先に支払う債務が生じます。 **作業時間の厳守をお願いします。**

本社について

皆様と結びつきが強い営業1課とPS係は、朝6時から7時の間に事務所に詰めております。

よく日中に「1課のだれだれさんおりますか?」と、一部の方から連絡が入りますが、

日中は配達、現場指導、点検、クレーム処理、営業の多岐の業務を行っております。

連絡をいただいた内容を分析すると、担当に連絡をしなくてもよい内容も多々あります。

事務所職員がお話を聞いて担当につなげるか判断いたしますので、連絡をする際は具体的な理由をお話ください。

急な休みはご遠慮ください。

最低賃金が今年も10月から上昇します。当社は売上を増加させはコスト削減させ、利益確保して最低賃金対策として毎年、補正予算を組んでおります。コスト削減の副作用として、本社の現場に行けるスタッフ増員が叶わないことです。

このため、本社の現場フォロー体制は脆弱化傾向にあり加えて、近年軽々しく休む方が増加しております。その方達はたかだか600名中に1名だから体制に影響がないとお考えなのでしょうか? しかし、そのストレスが現場や1課員、PS係にかかっています。

急な休み入る度に、朝6時から職員の労力（時間）がその休みを埋めるべく使われ、欠勤補充（代務）に1課員が自らも行うことにより、配達の遅れ、管理不足による品質の低下が顕著になっております。

どうか皆さんの同胞である1課職員 PS係に通常業務を多くできる日々を与えてください。

もちろん、**急病や急を要する事案については、これまで通りの規定で連絡をお願いします。**

代表取締役 灰谷大太郎